

トラブルシューティング():FTD登録中のFMC自動設定展開VPN接続の切断

内容

お問い合わせ内容

Firewall Threat Defense(FTD)デバイスを新しいFirewall Management Center(FMC)環境に移行する際、FTDの登録後すぐにFMCが自動的に設定を導入しました。この自動導入がVPNポリシーの手動再接続と証明書設定の前に行われたため、Secure ClientユーザのVPN接続が失われ、予定外のサービス停止が発生しました。

環境

- セキュアクライアントサービス用に設定されたFTD。
- 既存のFMCから新しいFMC環境への移行シナリオ

解決策

ユーザは次の手順を実行して、接続に関する差し迫った問題を解決しました。

ステップ1：デバイス設定の再設定

ユーザは、元のデバイス設定と、自動導入時に上書きされた稼働中のVPN設定を再設定しました。

ステップ2：ポリシーを再接続する

新しいFMC環境でVPN機能が復元され、正しく設定されるように、適切なポリシーが手動で再接

続されました。

原因

新しいFMCへのFTD登録中の自動展開動作は、不具合ではなく期待される機能です。手動による展開制御はドキュメントの解釈に基づいて期待されていたが、システムのデフォルト動作では、FMC管理環境全体でポリシーの一貫性を確保するために、デバイス登録時に自動的に構成が展開される。



ヒント：デバイステンプレートを使用して、FTD登録時にDay 2の設定変更を適用することを検討してください。デバイステンプレートはFMCバージョン7.6.0で導入されました。

関連コンテンツ

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。